

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公表番号】特表2009-501664(P2009-501664A)

【公表日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2009-003

【出願番号】特願2008-521923(P2008-521923)

【国際特許分類】

*B 6 0 S 1/40 (2006.01)*

【F I】

B 6 0 S 1/40 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

払拭されるフロントガラス上に備えられた、柔軟性のある物質でできた細長く伸びたワイパーべード(2)と、細長く伸びた弾性的なキャリア要素とから成るフロントガラス・ワイパー装置(1)であって、ワイパーべード(2)は長手側に反対方向を向いた軸方向の溝(3)を備え、前記溝においてキャリア要素の軸方向のストリップ(4)が間隔を置いて配置され、前記軸方向のストリップ(4)の隣接する端部はそれとの連結部材(6)によって相互に連結され、フロントガラス・ワイパー装置(1)は振動ワイパーーム(8)に対する連結装置(7)を具備し、前記振動アームはその一端の近傍にある旋回軸の周りを旋回するように、前記連結装置(7)に連結され、前記連結装置(7)は前記軸方向のストリップ(4)に結合されており、前記連結装置(7)は、互いに異なる方向を向いた前記軸方向のストリップ(4)の長手方向の縦側(16)において係合している係合部材(9)から成り、その結果前記軸方向のストリップ(4)は前記係合部材(9)によって形成される溝(19)に備えられ、前記係合部材(9)はそれとの軸方向のストリップ(4)の長手方向の水平側(17)の少なくとも1つに結合され、結合物質としてポリマー物質を使用することを特徴とするフロントガラス・ワイパー装置。

【請求項2】

前記連結装置(7)は超音波結合によって前記軸方向のストリップ(4)に結合される請求項1に記載のフロントガラス・ワイパー装置。

【請求項3】

前記係合部材(9)は、互いに異なる方向を向いたそれとの軸方向のストリップ(4)の2つの長手方向の水平側(17)に結合される請求項1又は2に記載のフロントガラス・ワイパー装置。

【請求項4】

前記連結装置(7)と前記係合部材(9)が1部材でできている請求項1乃至3のいずれかに記載のフロントガラス・ワイパー装置。

【請求項5】

前記ポリマー物質はポリマー樹脂(18)から成る請求項1乃至4のいずれかに記載のフロントガラス・ワイパー装置。